



## 平成31年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成31年2月5日

上場会社名 株式会社中京医薬品 上場取引所 東  
 コード番号 4558 URL <http://www.chukyoiyakuhin.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山田 正行  
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 辻村 誠 TEL 0569-29-0202  
 四半期報告書提出予定日 平成31年2月12日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無  
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成31年3月期第3四半期の業績（平成30年4月1日～平成30年12月31日）

#### (1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第3四半期	4,145	△6.3	92	△53.6	109	△48.4	47	△59.1
30年3月期第3四半期	4,424	△6.5	199	△28.5	212	△27.8	115	△33.8

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第3四半期	5.67	—
30年3月期第3四半期	13.94	—

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
31年3月期第3四半期	4,659	1,837	39.4	219.16
30年3月期	4,535	1,828	40.3	219.03

(参考) 自己資本 31年3月期第3四半期 1,837百万円 30年3月期 1,828百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	2.50	—	2.50	5.00
31年3月期	—	2.50	—		
31年3月期(予想)				2.50	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 平成31年3月期の業績予想（平成30年4月1日～平成31年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,600	1.9	112	105.0	129	79.2	56	382.1	6.69

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	31年3月期3Q	11,660,734株	30年3月期	11,660,734株
② 期末自己株式数	31年3月期3Q	3,275,295株	30年3月期	3,312,090株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	31年3月期3Q	8,366,075株	30年3月期3Q	8,317,544株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期貸借対照表 .....	3
(2) 四半期損益計算書 .....	5
第3四半期累計期間 .....	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	6
(追加情報) .....	6
(セグメント情報等) .....	7
3. その他 .....	7
継続企業の前提に関する重要事象等 .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期会計期間の期首から適用しており、財政状態については遡及処理後の前事業年度末の数値で比較を行っております。

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、政府による経済政策や金融政策等による企業業績の改善、良好な雇用状況が下支えとなり、緩やかな回復基調が継続しました。一方では、各企業の労働力不足は依然として続いております。

このような環境の中で、当社は経営の基本方針「トータルライフ・ケアの推進」として定め、お客さまの生活を支えるための商品やサービスを、多角的かつ多面的に推進してまいりました。このことが当社の企業理念として掲げる「健康づくり・幸福づくり・人づくり」の原動力となります。そして、心の絆を大切にしたヒューマンネットワークを更に広げ、当社ならではの「ふれあい業」を充実させ、顧客及び市場からの評価を高め、収益力の向上と経営基盤の強化を図ってまいりました。

その結果、当第3四半期累計期間における売上高は4,145百万円(前年同期比6.3%減)、営業利益は92百万円(前年同期比53.6%減)、経常利益は109百万円(前年同期比48.4%減)、また四半期純利益は47百万円(前年同期比59.1%減)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### ①家庭医薬品等販売事業(小売部門・卸売部門)

小売部門においては、前期導入した新小売システムにより、今後の更なる顧客サービスの追求と営業効率の改善が行えるようになりました。また、シニア社員の登用や、女性社員を積極的に採用し、お客様の多様なニーズに対応できるよう営業職層の拡大と労働環境の整備に努めて参りました。売上高につきましては、家庭医薬品等販売事業の小売部門において、季節商品の遠赤寝具やギフトなどの販売に注力しました。又、更なる顧客満足度の向上を図るために、従来の販売方法の見直しを行い、リピート顧客への商品販売の一部を第4四半期以降に変更した結果、一時的に減収要因となりました。

卸売部門においては、新たにフランチャイズ契約を締結した紀州中京医薬品への卸売販売が増加しております。また、除菌消臭関連商品「エアーマスク ネームホルダー」「エアーマスク スペア&ポケット」等が大手量販店やドラッグストア等で販売、出荷が始まりました。

その結果、売上高は3,659百万円(前年同期比7.1%減)、セグメント利益61百万円(前年同期比56.0%減)となりました。

#### ②売水事業部門

昨今の健康志向ブームによる飲料水へのこだわりと、拡大するミネラルウォーター宅配市場の成長の波に乗り、早期に中核事業の1つとして確立することを目標としております。またOne-Way方式により営業エリアが拡大され顧客への拡販も積極的に取り組みました。その結果、売上高は483百万円(前年同期比0.2%増)、セグメント利益31百万円(前年同期比48.0%減)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第3四半期会計期間末における流動資産は2,201百万円となり、前事業年度末に比べ190百万円増加いたしました。これは主に受取手形及び売掛金の増加160百万円、商品及び製品の増加82百万円及び現金及び預金の減少54百万円によるものであります。固定資産は2,457百万円となり、前事業年度末に比べ66百万円減少いたしました。これは主に無形固定資産のその他の減少26百万円、建物及び構築物の減少24百万円によるものであります。

この結果、総資産は4,659百万円となり、前事業年度末に比べ123百万円増加いたしました。

#### (負債)

当第3四半期会計期間末における流動負債は2,156百万円となり、前事業年度末に比べ84百万円増加いたしました。これは主に支払手形及び買掛金の増加103百万円、短期借入金の増加100百万円及び賞与引当金の減少70百万円によるものであります。固定負債は665百万円となり、前事業年度末に比べ29百万円増加いたしました。これは主に長期借入金の増加43百万円によるものであります。

この結果、負債合計は、2,821百万円となり、前事業年度末に比べ114百万円増加いたしました。

#### (純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産は1,837百万円となり、前事業年度末に比べ9百万円増加いたしました。これは主に自己株式の減少10百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は39.4%(前事業年度末は40.3%)、1株当たり純資産額は219.16円となりました。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成31年3月期の業績予想につきましては、平成30年5月15日付けにて発表しました業績予想からの変更はありません。詳細につきましては「平成30年3月期決算短信」をご覧ください。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成30年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	700,724	645,818
受取手形及び売掛金	432,823	592,957
商品及び製品	371,503	453,947
委託商品	380,990	364,827
仕掛品	115	110
原材料及び貯蔵品	22,442	38,216
その他	107,090	111,562
貸倒引当金	△4,346	△5,827
流動資産合計	2,011,345	2,201,613
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	584,832	560,790
土地	1,313,150	1,313,150
その他(純額)	61,110	51,465
有形固定資産合計	1,959,094	1,925,406
無形固定資産	135,420	108,766
投資その他の資産		
前払年金費用	82,666	94,062
その他	351,482	334,227
貸倒引当金	△4,408	△4,687
投資その他の資産合計	429,740	423,603
固定資産合計	2,524,255	2,457,776
資産合計	4,535,600	4,659,390
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	392,134	496,046
短期借入金	830,000	930,000
1年内返済予定の長期借入金	193,999	186,217
未払法人税等	38,021	16,976
賞与引当金	142,630	72,425
返品引当金	19,155	9,591
その他	455,432	444,774
流動負債合計	2,071,371	2,156,031
固定負債		
長期借入金	159,310	202,326
退職給付引当金	147,041	148,587
株式給付引当金	11,228	15,197
資産除去債務	4,652	4,691
長期未払金	232,720	232,720
その他	80,682	62,064
固定負債合計	635,635	665,587
負債合計	2,707,007	2,821,618

(単位:千円)

	前事業年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成30年12月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	681,012	681,012
資本剰余金	424,177	424,177
利益剰余金	1,702,732	1,706,464
自己株式	△986,239	△975,900
株主資本合計	1,821,682	1,835,754
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	6,909	2,018
評価・換算差額等合計	6,909	2,018
純資産合計	1,828,592	1,837,772
負債純資産合計	4,535,600	4,659,390

(2) 四半期損益計算書  
(第3四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)
売上高	4,424,106	4,145,474
売上原価	1,345,504	1,257,333
売上総利益	3,078,602	2,888,141
販売費及び一般管理費	2,878,913	2,795,465
営業利益	199,689	92,675
営業外収益		
受取利息	147	130
受取配当金	1,569	1,190
受取家賃	10,115	9,160
受取保険料	—	4,312
その他	4,343	5,145
営業外収益合計	16,176	19,938
営業外費用		
支払利息	3,373	2,986
その他	0	1
営業外費用合計	3,374	2,988
経常利益	212,491	109,625
特別損失		
固定資産除売却損	100	46
特別損失合計	100	46
税引前四半期純利益	212,391	109,579
法人税、住民税及び事業税	54,574	30,408
法人税等調整額	41,876	31,737
法人税等合計	96,451	62,145
四半期純利益	115,939	47,433

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示しております。



(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期累計期間(自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	四半期損益計 算書計上額 (注) 2
	家庭医薬品等販売事業		売水事業部門	計		
	小売部門	卸売部門				
売上高						
外部顧客への売上高	3,469,042	469,538	482,413	4,420,994	3,112	4,424,106
計	3,469,042	469,538	482,413	4,420,994	3,112	4,424,106
セグメント利益	109,609	29,591	60,489	199,689	—	199,689

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含んでいない事業セグメントであり、保険事業部門等を含んでおります。

2. セグメント利益の合計額は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期累計期間(自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	四半期損益計 算書計上額 (注) 2
	家庭医薬品等販売事業		売水事業部門	計		
	小売部門	卸売部門				
売上高						
外部顧客への売上高	3,179,985	479,051	483,196	4,142,234	3,240	4,145,474
計	3,179,985	479,051	483,196	4,142,234	3,240	4,145,474
セグメント利益	24,399	36,793	31,481	92,675	—	92,675

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含んでいない事業セグメントであり、保険事業部門等を含んでおります。

2. セグメント利益の合計額は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## 3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。